

津島分校人権だより

津島分校人権委員会

ひゅーまんらいつ

令和3年度 第9号



やわらかな心を持とう！！

性的マイノリティはLGBTQ（レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー・クエスチョン）と表現され、その中でもトランスジェンダーは身体の性と心の性が異なる人のことを言います。また、またクエスチョンは、男女の枠に属さないとしてXジェンダーとも表現もされています。

これらの人たちは、好きになる人が同性である、または男性、女性という意識と肉体的な性別が気持ちの中でしっくりしていないことを、なかなか人に打ち明けることができず悩んでいます。大切なことは、性的マイノリティの人々は、自分で自分自身の「性」を決め、ありのままの自分を周囲の人々にも受け入れてもらいたいと強く願っておりその気持ちを尊重することなのです。

さて、2017年東京でこんなことがありました。大手ディスカウント店で有名なドン・キホーテは渋谷に新たに店舗を移転オープンさせるにあたり、その店内に【LGBT 用トイレ】を設置したと報道しました。実はその報道によって波紋が広がります。そもそも店側は、2015年渋谷区が結婚をしたい同性カップルに対し条例に基づきパートナーシップ証明書を交付したことに賛同し、このトイレを作りました。その渋谷区の条例では「渋谷区民及び事業者はパートナーシップ証明に最大限配慮しなければならない」と明記され、それを受けてのトイレ設置でした。そして、このトイレについて「お子さま連れやお身体の不自由なお客様ほか、性的指向や性自認いかににかかわらずどなたでも利用できるトイレ」を作った、と説明しています。ところが、この記事の最後に個室3室を備えたトイレに「All GENDER」の案内板が掲げている写真が掲載されたことにより、「【LGBT 用トイレ】と特化されたら入りにくい。」または、「自分がそうなのかと周りの人から思われるかもしれない。」等の使いにくいといった当惑の声がありました。そのトイレは男女のトイレの真ん中に設置されていたそうです。車椅子を利用されている方足腰が不自由な方やオストメイトの方など「だれでもトイレ」を必要とする人が多くいるにもかかわらず「だれでもトイレ」を使用すると差別される。みなさんはこのことについてどのように思いますか？

日本では2004年「性同一性障がい者の性別の取扱いの特例に関する法律」の施行により、自分の「性」に迷い悩む人たちが戸籍上の性別を変更することができるようになり、人権が尊重される社会づくりを目指しています。すべての人の人権が保障された社会を作るのは、私たち一人ひとりであり、私たち自身が、性に対する多様性を認め受け入れていくことができる『心の柔らかさ』を持つことが大切です。

多様な性の在り方について考えてみましょう！！（愛媛県教育委員会人権啓発課資料 幸せの道 第94号より）

○性別とは何ですか？

男性と女性の別です。しかし、なかには身体の性別が不明瞭な人もいます。そういう人のことをインターセックスといいます。また、生物学的な違いをさす性別に対して「男らしさ」「女らしさ」など、社会的・文化的に形成される性別をジェンダーと言います。

○同性愛は病気ですか？

違います。WHO（世界保健機構）1993年に同性愛を治療の対象から外しています。日本では、1994年に厚生省（当時、現在は厚生労働省）がWHOの基準を採用しています。

○性同一性障がいはどうやって分かるのですか？

性同一性障がいであるかを知りたい場合は、専門の医療機関を受診しなければなりません。医療機関では、日本精神神経学会がまとめたガイドラインにそって、性同一性障がいかどうかを判断します。

○性同一性障がいと同性愛は違うのですか？

違います。性同一性障がいは性についての**自分自身の認識に関すること**であり、同性愛は**性的指向に関すること**です。同性愛者は自分を男性（女性）と認識しており、男性（女性）として同性を愛します。それに対して、性同一性障がいの方は身体的な性別は男（女）でも、性自認は女（男）なので、同性を愛することは異性愛になります。

□ 自らLGBTQであることを、カミングアウトしたサム・スミスさんをご紹介します。

サム・スミス (Sam Smith) はイギリスのロンドンに生まれた25歳のシンガーソングライターです。彼は、2015年のアメリカのグラミー賞 (今日世界で最も権威あるアメリカの音楽賞のひとつ) で主要部門3冠を含む、合計4つの部門で受賞しました。その賞は以下の通りです。

- ・年間最優秀レコード賞
- ・年間最優秀楽曲賞 (ステイ ウィズ ミー 「Stay with me」)
- ・最優秀新人賞
- ・最優秀ポップ・ヴォーカル・アルバム賞



受賞アルバム 「孤独の時間」

この、グラミー賞最多の4部門受賞はこれまでにないことでした。実は、この受賞前の2014年5月に彼は、自身が同性愛者であることを公表しました。自分自身の思いを、受賞作である『孤独の時間 In The Lonely Hour』というアルバムに込め、自分に誇りを持って音楽活動に専念しました。そのような彼の姿は、ファンのみならず全世界の音楽愛好家たちの共感呼び起こし、その美しい歌声で聞く人の心を癒したのです。

アルバム『In The Lonely Hour』の発売に合わせて受けたインタビューでサムは、「孤独の時間」と題したこのデビューアルバム中の受賞楽曲「Stay with me」について、**男性への片思いを主題にした作品である**と語っています。このインタビューで、自らがLGBTQであることをオープンにした彼は、アルバムは**「ただのひとりの男性についての作品である、ということを知って分かってもらいたかった。これまでも僕は、ずっと他の人と何も変わらないと受け止めてもらっていたし、僕には何の問題もない。だからアルバムも普通に受け止めてほしい。みんな、ストレートの人間にはそんな質問はしないんだから。僕にとってすべての人に届く音楽を作ることが大切なことだったし、誰もが共感できるような音楽を作ってきた。」**と語っています。

サムは楽曲の作詞に当たって、自分が好きだった「彼」に対する「愛」を表現することに焦点を当てています。彼は差別を恐れることなく、自分が男性同性愛者であることを公表してまでも、相手にその気持ちを歌で伝えようとしたその姿勢が、人々の心を打ったのではないのでしょうか。

現在、「女だから男を好きになる。男だから女を好きになる。」という固定の概念に思い悩み、自分の本当の姿を見せることができずに辛い思いをしている人が多くいます。このような多様な性の在り方があるのだということを知り、理解を深めることが、性的マイノリティの人々にとっても、私たちにとっても幸せな社会を創ることができるのだと実感しています。

Stay with me (そばにいてくれないか)	から抜粋 (和訳)
Oh won't you Stay with me	Cos you're All I need
そばにいてくれないか	君が必要なんだ
This aint love It's clear to see	But darling Stay with me
みればわかる、恋なんかじゃないでも、	しばらくそばにいてくれ

感想

() 年1組 () 番 氏名 ()